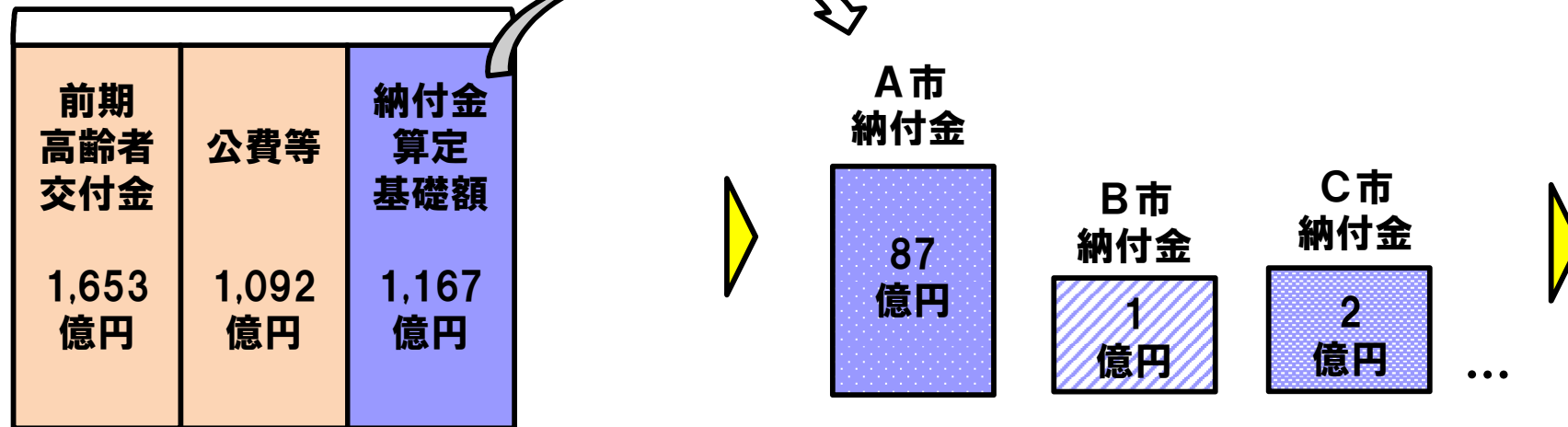


納付金・標準保険料率算定のイメージ図（参考）

保険給付費（一般分・医療分）
県総額：3,912億円

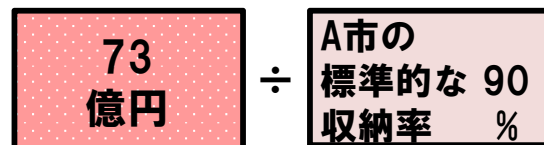
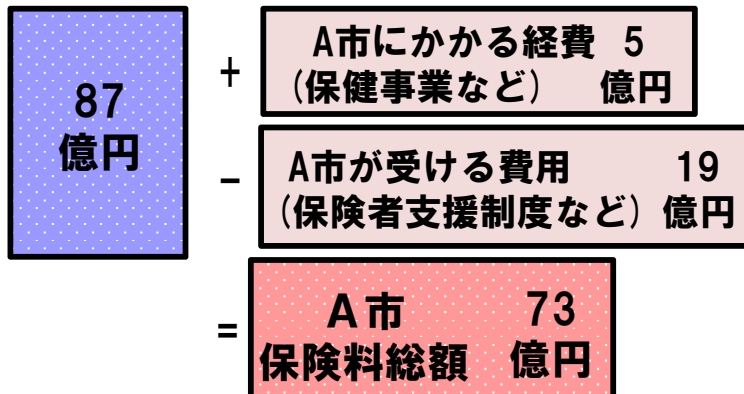
※数値は参考値



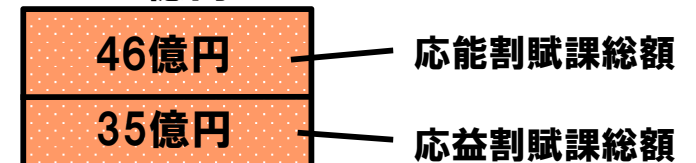
① 保険給付費から前期高齢者交付金や公費等を控除して納付金算定基礎額を算定。

② ①を所得や人数のシェア、医療費水準に応じて各市町村に配分し、各市町村の納付金を算定。

A市



81億円



〈市町村標準保険料率〉
所得割率＝応能割賦課総額÷所得総額
(6.57% ≡ 46億円 ÷ 700億円)
均等割額＝応益割賦課総額÷被保険者総額
(39,000円 ≡ 35億円 ÷ 9万人)

③ ②に市町村ごとの経費や補助金等を加減算し、保険料総額を算出

④ ③に標準的な収納率を割り戻し、調整後保険料総額を算出

⑤ ④を各市町村の所得や人数のシェアに応じて分割した上で、それぞれ標準保険料率を算出

※ 保険料負担の急激な増加を回避するため、③が改革前から一定割合以上増加する市町村に、財源を優先的に投入し再計算する(激変緩和)